



研究者名※	尾中文哉 ONAKA Fumiya	学位※	博士(社会学)
所属※	人間社会学部 現代社会学科	職名※	教授
連絡先	fonaka@fc.jwu.ac.jp		
URL	http://mcn-www.jwu.ac.jp/~fonaka/index.html		
researchmap※	https://researchmap.jp/fumiya_onaka		
研究分野※	社会学、総合人文社会		
研究キーワード※	キャリア、文化・宗教・社会意識、地域社会・村落・都市、社会学理論・社会学方法論、地域間比較研究、国際比較		
共同研究・競争的資金等の研究課題	『能力』の制度としての試験に関する比較社会学的考察		
社会貢献・産学官連携活動等	ISA(International Sociological Association) の RC20(Comparative Sociology),RC33(Logic and Methodology in Sociology), RC56(Historical Sociology)での活動を通して、世界で行われた社会学的研究成果の発表の場を創出していくとともに、それを通して世界レベルに影響を与えていく。		
受賞歴			

研究領域	地域間比較研究、国際比較	
------	--------------	--

研究テーマ※	試験の比較社会学
--------	----------

概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 様々な形態における試験制度をタイ、イギリス、韓国、日本をはじめとする様々な地域について時系列的变化も含めて詳細に調べかつ比較することにより、試験についての知見、地域についての知見、社会についての知見、および人類史全体についての知見を得ることである。それは、SDGsで掲げられた様々な課題について取り組むことにもつながる。</p> <p>【応用例、研究の展望】 この主題は、OECD生徒の学習到達度調査(PISA)や大学共通テストなど、教育にかかわる試験という意味では、国家、自治体、地域、学校、家庭の運用にとって重要な意味をもつ。そしてそれを通して貧困や飢餓や格差、ジェンダーや家族、コミュニティや都市、平和や正義、消費や生産、仕事やキャリア(生き方)など様々な観点から論じられる主題となっている。下記の研究成果で特に重点的に取り扱われているのは、60-90年代のタイ、イギリス、韓国、日本における変化であるが、それよりも前の時代、およびそれよりも後の時代についてより詳細に取り上げていく必要がある。さらに、これ以外の地域についても取り上げるといった課題も残されている。</p> <p>加えていえば、この研究は、検査という意味では衛生や医療や健康や福祉などケアの諸実践とかかわるものであり、実験という意味からは水環境・エネルギー・気候・海洋資源・陸上資源など環境論そして技術革新など科学論全体に関わるものであるなど、幅広いテーマにつながっている。そして何よりも、比較という作業を通して、グローバルなパートナーシップを創造するプロジェクトとなっている。</p> <p>【研究方法の特色】 インタビュー調査、アンケート調査、ドキュメント調査など様々な調査方法を複合的に用い、かつそれを比較できるような仕方調整して利用することが特徴である。</p>
-----------------------------------	--

本研究関連特許・論文等	・Fumiya Onaka(ed.) (2019) <i>Comparative Sociology of Examinations</i> . Routledge.
-------------	---

共同研究・外部機関との連携への期待	・ISA(International Sociological Association) の RC20(Comparative Sociology),RC33(Logic and Methodology in Sociology), RC56(Historical Sociology)により実施する様々なプロジェクトとの連携。
-------------------	--